

「大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の高度化に関する検討会」の開催

国民保護・防災部参事官

1 背景・目的

近年、気象変動等の影響により、各地で豪雨災害が頻発しています。多くの都市が平野部に位置する我が国では、局所的な豪雨等により多くの浸水被害が発生し、また、都市部では地下鉄や地下街などの地下空間への浸水被害も懸念される中、浸水区域における災害は大規模・多様化することが予測されます。

浸水区域での救助活動は、陸上での活動に比べ、二次災害の危険性が高く、劣悪な環境での活動となる上、特殊な救助手法が求められます。

このため、各消防本部の対応状況等について現状を分析し、これまでの実災害において培った経験や教訓を踏まえ、安全かつ迅速な救助活動を実施するための活動要領等について検討を行うことを目的とし、8月29日に第1回検討会を開催しました。

2 主な検討事項

- (1) 浸水区域における救助活動要領
- (2) 安全管理要領
- (3) 先進的・効果的な資機材の導入
- (4) 訓練方法・研修機関等の提示

3 第1回検討会の内容

第1回検討会では、検討会の趣旨やスケジュールについて事務局から説明が行われた後、実態調査の結果や過去の浸水災害事例等を踏まえ、問題点の抽出や今後の検討方針等について検討が行われました。

4 検討会のスケジュール

- ・第1回 平成29年 8月29日
- ・第2回 平成29年10月下旬 (予定)
- ・第3回 平成29年12月上旬 (予定)
- ・第4回 平成30年 2月中旬 (予定)

本検討会の検討結果は、平成29年度中に「平成29年度救助技術の高度化等検討会報告書」として取りまとめる予定です。

大規模自然災害に伴う浸水区域における救助技術の高度化に関する検討会構成員

(敬称略・五十音順)

【座長】

小林 恭一 東京理科大学総合研究院教授

【委員】

○学識経験者・医療関係者・関係省庁等

石垣 泰輔 関西大学環境都市工学部教授

大友 康裕 東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科救急災害医学分野教授

小島 優 国土交通省水管理・国土保全局防災課災害対策室長

竹林 洋史 京都大学防災研究所流域災害研究センター准教授

西澤 賢太郎 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長

藤原 尚雄 一般社団法人ラフティング協会専務理事

増田 克樹 海上保安庁警備救難部救難課長

吉村 高寛 公益財団法人マリンスポーツ財団事業部長

○消防関係機関

五十嵐 潤一 東京消防庁警防部救助課長

菊池 大介 北九州市消防局警防部警防課長

斉藤 義恵 常総地方広域市町村圏事務組合消防本部警防課長

下山 亮介 川崎市消防局警防部担当部長警防課長事務取扱

早坂 和浩 仙台市消防局警防部警防課長

林 達也 岡山市消防局警防課救助担当課長

東谷 浩二 西宮市消防局警防部警防課長

松崎 耕三 京都市消防局警防部消防救助課長

吉田 堅一郎 全国消防長会事業部事業企画課長



問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
布川補佐、松浦係長、堀木事務官
TEL: 03-5253-7507